

①総務委員会

総務委員会 将来構想剣道人口検討部会

2/15(土) 総務委員会将来構想剣道人口検討部会のメンバーライングループの立ち上げ

・予算案検討

4/22(火)一般社団法人神奈川県剣道連盟法人設立記念式典

4/26(土)第1回部会(県民センター) 議事録報告済み

・会長、専務理事同席 情報交換 部会の目的確認

8/21(木) 剣道研究会(11月)へ向けスケジュール確認

8月中 小委員会 9月中 アンケート実施回収

10月中 アンケート集計、まとめ作業、プレゼン資料作成 11/2(日)発表

8/27(水) 第2回部会小委員会(養浩館道場) 議事録報告済み

・アンケート内容検討

9/11(木) 第3回部会小委員会(県民センター) 議事録報告済み

・石原先生同席

・2/1(日)中学校高等学校(川崎地区)剣道交流会について検討

10/15(水)第4回部会(県民センター) 議事録報告済み

・専務理事同席 剣道研究会へ向け準備

・研究会当日のタイムテーブルの確認

・発表内容・情報交換等の確認

10/22(水)第5回部会小委員会(県民センター) 議事録報告済み

・会長・専務理事同席 剣道研究会へ向け最終準備

・研究会案内文、当日の日程、次第、内容等最終確認

11/2(日)剣道研究会(県民センター) 実施報告書済み11月15日

○開会の挨拶 ○研究会の趣旨説明 ○中学校部活動活性化への取り組み

○中高交流会の報告 ○出席者との意見交換 ○閉会の挨拶

出席者数名よりアンケートの要望あり

☆部会メンバーより 今後へ

・研究会を二部構成

第一部:高校継続率アップ 質疑

第二部:部活動地域展開 質疑

・ディスカッション方法 ブロックごとの班別 課題別班等

11/13(木)剣道研究会アンケートの実施

11/29(土)剣道研究会アンケートの整理・まとめ

今後の予定等

・令和8年2/1(日)中学校高等学校交流会(県立武道館)

「エンジョイカップ(仮称)」

・剣道研究会アンケートの結果を検討・考察し情報整理し課題解決の糸口を探る。

飛知和 利文

資料13

剣道研究会アンケート集計(提出支部数23・提出者数57)

(1)	今回の剣道研究会に参加してよかったか	
	① 大変良かった	17
	② 良かった	29
	③ 普通	7
	④ 良くなかった	4
(2)	(1)の①～③を回答した方(複数回答可)	
	① 本研究会の趣旨はわかった	46
	② 中体連の先生方の取り組んでいる行事は理解できた	37
	③ 川崎市の中高交流会の取り組み状況について理解できた	37
	④ 中学校部活動地域展開(移行)の現状と今後への備えについて理解できた	31
	⑤ 海老名市剣道連盟の取り組み(経過途中)事例について理解できた	34
	⑥ 意見交換会について理解でき参考となった	17
	⑦ その他	3
(3)	(1)の④を回答した方(複数回答可)	
	① 本研究会の趣旨が良くわからなかった	3
	② 中体連の先生方の取り組んでいる行事が理解できなかった	0
	③ 中高交流会川崎市の取り組み状況について理解できなかった	0
	④ 中学校部活動地域展開(移行)の現状と今後への備えについて理解できなかった	3
	⑤ 海老名市剣道連盟の取り組み(経過途中)事例について理解できなかった	0
	⑥ 意見交換会について理解できなかった	4
	⑦ その他	1
(4)	日程、時間について	
	① 半日でよい(午前)	45
	② 半日でよい(午後)	5
	③ 一日日程が良い	0
	④ その他 ・予定された開始・終了時間通りに運営される事が望ましくないでしょうか ・テーマによります 2時間程度となるような設計が希望	6
(5)	剣道研究会全体をとおしてご意見をお願いいたします。	
(6)	今後、剣道研究会でとり上げて欲しいテーマがありましたらご記入ください。	
(7)	自由意見	
(8)	今回、ペーパーレス化の方針のもと、大半の資料は印刷なしで説明しましたが、プレゼン後数名の方から「全然見えなかった」と言われました。紙の資料があった方が良かったか否か回答をお願いいたします。	
	① 紙の資料が欲しい	20
	② ペーパーレスで構わない	36

②倫理委員会

令和7年11月25日

一般社団法人 神奈川県剣道連盟
会長 野見山 証 殿

倫理委員会
委員長 伊藤 龍紀

活動報告書

1. 委員会の構成

委員長	伊藤 龍紀	専務理事・海老名市剣道連盟会長
幹事	赤井あゆみ	広報部会・女性部会・海老名市剣道連盟副理事長
委員	子島 直人	緑区剣道連盟会長
委員	東城 俊也	神奈川区剣道連盟会長
委員	森川 保	座間市剣道連盟会長
委員	久保 正男	居合道部顧問 居合道委員会委員長
委員	大竹 俊行	杖道部会長
委員	高梨 裕子	医療安全委員会

2. 活動期間 令和7年4月1日から令和7年11月30日

3. 活動内容

(1) 告発状に関する調査等 1件（パワハラ

倫理委員会開催状況

回	開催年月日	議題	決定事項等
第1回	令和7年7月4日	告発状の扱いについて 今後の進め方について	ヒアリングによる 事実確認実施
第2回	令和7年7月17日	第1回・2回・3回の 内容確認	事実確認
第3回	令和7年7月24日	第4回・5回の 内容の確認	処分方針について
第4回	令和7年9月12日	告発人及び告発同意人への報告について	
結論	令和7年9月25日	神奈川県剣道連盟解決策の提案に両者合意した。後日、全剣連に結果報告を行い、了承を得る。	

4. その他

全剣連より、神奈川県剣道連盟所属の支部及び傘下団体において、パワハラがあることの相談が寄せられた旨の連絡があり、対応を依頼された。結果として、相談者より「話を聞いて頂けただけで感謝です。私が怖いのが、苦情が先生方の耳に入り、道場を出禁になったり教えて貰えなくなったりする事です。剣道は好きなので続けていきたいと思っています。段や試合の強さなどに関わらず、個人を尊重してもらえると嬉しいです。ありがとうございました。」とのことであったので、特に対応等は行わなかった。

③審査委員会

審査委員会報告書

審査委員会委員長
委員長 田島東海男

第1回審査委員会

日時：令和7年2月18日18時～（合同稽古の前）

場所：神奈川県立武道館2階会議室

主席者：野見山延（次期会長）、田島東海男（委員長）、石川（事務局）、小笠原
支部役員：水野良一（横浜）、鶴間章生（川崎）、石井鉄雄（相模原）、
飯田丈夫（茅ヶ崎）、奥津貴（小田原）、以上、9名
欠席：加茂田博文（横須賀）（敬称略）

会議次第

野見山先生挨拶

（次年度新体制審査会に向けて、各支部委員選出の理由、
審査委員長も佐藤先生以外初めてになるので宜しくお願いしたい）

田島先生

（新体制で宜しくお願いしたい、審査会の流れ、当日の注意点など）

小笠原

（作成した書類を基に、審査員会議司会進行について、審査会当日進行上の留意点【事例を交えて】についての話）→ 全員で意見交換

石川さん

（作成した書類を基に、現金・ワッペンなどの受け渡し方法、提出事務書類など事務全般についての話）→ 全員で意見交換

支部役員からの意見

○審査会当日の運営について多くの意見が出た。

・支部の先生方からも多くの事例の話が出、各々大変参考になった

（多くのトラブル発生事例もあり、これから一人で役員として審査会を進行するのに、参考になったものと思われる）

・係員の実務（毎回違う方がされるので不慣れの面もあるが、「係員立合い手順と心得最新[R4.11]」をもとに指導して審査会実施することとなった）

・実技合格発表の方法（各地区方法は違うが、何度も見直し見落とし等のないように努める）

○審査員席次

・剣連事務局から送られてきた審査員名簿の上から順番とする。

○本部（剣連事務局）との連絡

・大きくは係員の現金などの受け渡しがいままでと違う点であるが、石川さんのマニュアルどおりにすすめて、また意見交換、改善していくとした。

・これまで審査会終了後、担当役員が作成していた全剣連書類や出入金伝票等については石川さんが結果表をもとに後日作成することとなった

本部からの要望と決定事項

- 支部の審査会のマニュアルがあれば、本部にメールがほしい、これからの参考資料としたい(野見山先生)
- 本日小笠原が作成した「審査員会議司会進行について」「支部審査会(三段以下)注意事項」を剣連石川さんへメールする(野見山先生) **送信済**
- 審査終了後の審査員反省会
 - ・反省会時に審査長、主任を中心に(当日起こった)問題点のみでなく、広く多く意見を求めて欲しい。審査会向上のため。(野見山先生)
- 審査委員会開催について
 - ・前期後期審査終了後、年2回開くこととなった(野見山先生・田島先生)
 - 「審査会後の反省会」「審査会まとめ」を基に意見交換をおこない、審査会をよりよくしていく。
 - 時期としては、9月と2月が妥当となった
- ビデオ撮影について
 - ・基本的には全剣連と同じとする
 - ・神奈川剣連内の審査会と大会とで違うことがあるので幹部会に図り検討してもらうこととなった

終了時刻：19時15分 (10分前に始まったので約1時間半)

第2回審査委員会

日 時：令和7年9月13日(土) 16時20分～17時50分

(剣道称号審査会、剣道称号受審者講習会、第1回心肺蘇生法講習会終了後)

場 所：神奈川県立武道館

主席者：田島東海男(委員長)、石川(事務局)、小笠原(副委員長)

支部役員：水野良一(横浜)、加茂田博文(横須賀) 鶴間章生(川崎)、石井鉄雄(相模原)、奥津貴(小田原)、本間(湘南)

敬称略、以上9名

- ・田島先生挨拶
前期終了、慰労の言葉。
(各支部、問題点や反省会での意見、要望など出していただき、後期の審査会向上に努めたい。宜しく願いたい。)
 - ・石川さん
本部との事務連絡方法、書類の作成、後期も変更なし。
再受審票の上部()内に、学科・形など記入漏れがないようお願いしたい。
- 各支部から
- 川崎支部
 - ・実技合格者を不合格とした。
(本人に謝罪し、後日の伝達講習会時に指定審査員により学科、形審査を行い合格とした)
 - ・受審資格前(修行年数不足)の受審者があった。
(不合格、受審料返金にて対応)

- ・学校で申し込みが遅れるケースがある。ルールを守らないと当日バタバタ としてしまう。
(受付名簿を各支部に渡す、各支部に受け付け者を知らせるなど検討中)

○相模原

- ・申込み確認が出来ない受審者があった。結果、本人は申込み済、所属顧問が連盟への申込み漏れ。
(本人の申込み事実が確認でき、合格として処理した)

【経緯など石井先生作成報告資料あり、支部としてマニュアル作成も検討中】

○横浜

- ・申込みが遅れることがある。各区では先に締め切りしているケースがある。
- ・受審者数が多く、諸問題を抱えている。
(実技審査時間、実技不合格者の学科提出、会員登録の時期と登録費など、)

○小田原

特になし

○湘南

特になし

○横須賀

特になし

○四五段

五段実技審査、受審組の入替え時、立会者の「はじめ」の号令は、係員の方が審査員の審査合否票を集め終えてからとした。

(全員で意見交換後)

- ・実技審査時、審査員の審査合否票は、受審者の礼法を見届けて、係員が集めることで実施してみることとした。
三段以下審査については合否着眼点に礼法があることも考慮。
全体の終了時間がさほど伸びることはない。10分程度と思われる。
係員の手順伝達については、係員には支部役員が伝える。
審査員には審査委員長から伝えるよう、事務局石川さんが計らう。
- ・申込みの失念、遅れ等について
現時点では、各支部、申込み受付事情、事務処理背景等に違いがあるため、「受けさず」を基本に支部において臨機応変に対応することとした。

(支部役員からの要望として)

- ・(横浜地区) 学科試験前、審査員の先生方が受審者に早く提出しなさいというようなジェスチャーで急かさないでほしい。係員も戸惑う。
- ・(川崎地区) 川崎では現在、車で来られない審査員をタクシーで送迎している。出来れば最寄りのバス停まで来てほしい。(バス代なども含め事務局でも検討：石川さん)

約1時間半で終了

④大会委員会

令和7年度 神奈川県剣道連盟

大会委員（競技委員長）の反省

1. かながわシニアスポーツフェスタ2025

2. 大会日時	11月8日	準備開始時間	8時30分
		開会式開始時間	10時00分
		閉会式終了時間	15時57分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。

1. 当日、高体連（高校生）の弓道大会と重なり、選手の入場を武道館職員の指示で、高校生が先となり開会式が30分遅れとなり10時となった
2. 男子更衣室となる小道場が、半面を弓道大会の更衣室にもなっていたため大変混雑した
3. 各試合場の係員の昼食休憩時間が必要なため、個人戦であるが30分間の昼食時間をとった
4. 例年通り3部門の試合（59歳以上65歳未満・65歳以上70歳未満・70歳以上の部）を4試合場で実施したが、第2・第3・第4試合場においては30分遅れの試合開始であったが予定通りの試合進行ができた。第1試合場においては7試合の遅れが生じた。5試合残して13時に昼休憩とした。
結果的に1部門の試合進行が遅れたために、他の2部門の準決勝進出選手を20分ほど待たせることとなった。大会進行のあり方を検証し検討する必要がある
30分遅れの試合開始ではあったが、16時には閉会式が終了できたのは選手・役員・係員の協力のおかげであった

4. 記録者氏名 (川村 振二)
大会終了後に川村のアドレスに送付して下さい sinji-2008@jcom.home.ne.jp

1. 第50回神奈川県母子剣道大会・神奈川県東西対抗剣道大会

2. 大会日時	10月13日	準備開始時間	8時20分
		開会式開始時間	9時30分
		閉会式終了時間	16時 分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。
・今回の大会において、進行上特に指摘を受けたものはありません。

(自身の気づきなど)

・大会進行スケジュールが、プログラム記載時間（12時30分）と変更になった（10日の事前打ち合わせで確認）ため、朝の審判員打ち合わせで午後の開始時間が13時であることを伝達したが、認識が薄かった印象を受けた。また、午前の終了が12時40分と予定より10分ほど遅れたため（試合開始前に、J.COMの会長へのインタビューが入り若干開始が遅れたことと、代表戦が多かったことなどによる）、午後の再開13時までの間が短くなり、審判員、役員に負担がかかった。（午後の開始は13時5分）

・午前の表彰で、敢闘賞に入賞された2チームが表彰式に参列されなかった。1チームは着替え終了後敢闘賞を受け取りに来たが、1チームはすでに帰宅済みであった。開会式にしっかりと伝達しておくべきであった。

・係員の1名が、午前が終わった段階で帰宅してしまった可能性がある。終了後、事務局から交通費・手当を支給する際にその場に現れなかった。今大会は、午前午後で役割負担が変更するが、朝の段階で徹底すべきであった。

4. 記録者氏名 (福岡 孝幸)
大会終了後に川村のアドレスに送付して下さい sinji-2008@jcom.home.ne.jp

1. 第73回全日本剣道選手権大会 神奈川県予選会

2. 大会日時	9月7日	準備開始時間	8時30分
		開会式開始時間	9時58分
		閉会式終了時間	14時03分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。

・大会参加者 63名（申込66名）
・開会式までの流れが打ち合わせと異なっていたため、実際の流れを書き留めておきます。

8:30 役員・係員入館
8:35 事務局・会場係員8名による設営(2会場及び受付終了時に係員昼食場所の机・椅子設置)
8:45 係員ミーティング(5分)・開会式時2名手伝い指名(選手整列 横11列・後6~4名)
8:57 受付開始及び竹刀検量アナウンス→受付開始
9:00 審判員集合
9:23 受付終了(要項受付9:30迄記載のため待機。途中受付されていない3名の不参加確認が取れたので受付締切る)

検量による違反竹刀 4名 (5本・うち小太刀1本)
9:30 抽選開始 出場支部の多い順(県警→鎌倉市→相模原市→鶴見区→南区→港北区→他)
★事務局主導で行う抽選の際、兄弟での参加は会場を分ける説明を行っていたが、井出兄弟の申込支部が異なっていたため、先に抽選を行う予定の県警登録の井出選手の抽選が後手になった。兄弟での参加の場合、事前に会場アナウンスが必要。(9:32頃から抽選終了した選手からアップ開始)
9:43 抽選終了(抽選の遅い選手がいるためアップ時間確保)9:52 アップ終了(自然に終了)
9:54 開会式開始のアナウンス→ 9:58 開会式 → 10:03 開会式終了→5分後試合開始
13:48 決勝・三位決定戦(同時)

・当日審判員より、アップ終了時間をアナウンスして欲しいと指摘あり。
・本大会は動画撮影の禁止だが撮影者発見、撮影を注意しに行ったが見失う。
・決勝審判は大会委員長(飛知和先生)及び審判長(宮崎先生)より個別に指示。放送による案内なし。
・閉会式時、司会の流れを失念し一同礼の後、役員を立たせた状態で成績発表を行ってしまった。

4. 記録者氏名 (北村典久)
大会終了後に川村のアドレスに送付して下さい sinji-2008@jcom.home.ne.jp

1. 第69回神奈川県青少年剣道選手権大会 (於 県立武道館)

2. 大会日時	8月30日	準備開始時間	8時30分
---------	-------	--------	-------

開会式開始時間 9 時 30 分
閉会式終了時間 17 時 15 分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。
- ・4 試合場 3 5 3 試合の試合数だったので、やはり時間がかかった。大会委員の北村先生や事務局長の対応のおかげで終盤の試合場変更もスムーズにおこなえた。この大会も競技委員長と大会委員の2名が必須と思われる。
- ・当初の予定では、昼休憩を30分と予定したが、事前に昼休憩なしとなったので良かった。
- 個人戦の場合、運営上、そして選手の気持ちとしても昼休憩は取らない方がよい。
- ・東海大学の学生が8名係員として来ていただいたので、試合場係の昼食も問題なくとれた。
- 昼休憩が無い場合は8名ほどの係員の増員は必須である。
- ・前日の打ち合わせでは、閉会式の表彰は総合優勝の表彰の後、12部門の優勝者に12人の役員が一齐に優勝杯を渡し、次に2位、3位、敢闘賞と順に表彰する予定であったが、当日の午後
- 会長より各部門ごとに8名を表彰することに変更となった。事務局の担当者と会長との間に齟齬があったと思われる。
- ・事務局内での打ち合わせをお願いしたい。
- ・野見山会長より、12部門の個人戦の為、支部の選手の試合が複数会場で開催される場合が多くあり、支部の監督代行の方が監督席に座っていましたが、私服の方がいます。監督代行は認めるが、代行の方も審判服に準ずるとするべきだと指摘を受けた。同感であります。大会要項に一文追加すればよいと思われる。
4. 記録者氏名 (川村振二)

1. 第48回神奈川県剣道錬成大会

2. 大会日時 8 月 3 日 準備開始時間 8 時 15 分
開会式開始時間 9 時 30 分
閉会式終了時間 15 時 10 分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。
- ① 朝 武道館に役員・会場係員入場の際、事前に聞いていなかったが 事務局担当者が入口のところで 「糸井先生の指示に従ってください」と会場係員に案内をした。
- 係員が集まってきた為 取り急ぎ会場設営を行って頂き 終了後川村先生に相談し係員ミーティングを行い無事終了した。
- ② 閉会式終了時に参加選手が貧血で倒れ、倒れた選手の方を気にした為、「相互の礼」を行わず終了してしまった。
- ③ 今回の大会は予定より早く終了した為 特に大きなクレームも無く終了することができましたが、細かい改良点がありましたので「司会レジュメ」を作成していきます。
4. 記録者氏名 (糸井 孝次)

1. 第79回国民スポーツ大会剣道競技

2. 大会日時 令和7 5月 24日 準備開始時間 8 時 30 分
開会式開始時間 10 時 00分
試合開始 10 時 15分
閉会式終了時間 16 時 50分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。
- ＊概ね福岡先生がまとめられた内容に賛同いたします。
- ＊大会の性質上、当日の抽選、組み合わせ発表のため、試合開始が予定よりも伸びてしまう。
- 1) 会場数を2コートから3コート以上に増やす必要がある。
- 2) 試合開始時間をあらかじめ、午前午後に振り分けられないか。9時に受け付けて、抽選して、組み合わせ表を出して、検量もあるので、試合開始が午後3時近くになる部門もあります。選手に負担が多いのではないかと思います。
- 3) 賞状や賞品はありませんが、国体選手選考認定のようなものを出したらどうか。
4. 記録者氏名 (戸塚義孝)

1. 第79回国民スポーツ大会剣道競技 神奈川県予選会

2. 大会日時 5 月 24日 準備開始時間 8 時 30 分
開会式開始時間 10 時 00分
閉会式終了時間 16 時 50分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を箇条書きで記入してください。
- ・予選会参加選手数増加への対応必須（2試合場では運営困難。試合場数の増加）（福岡）
- ・県主催大会の競技委員長が実際のところどこまでやるのか認識が不十分だった。（審判員打ち合わせの進行など、終了後の反省会の運営など）
- 中島事務局長、戸塚先生のサポートに大いに助けられた。
- （朝の審判員打ち合わせで伝達されるべき事項をメモしておき、会長、大会委員長、審判長が伝達しなかった事項を漏れなく伝達できるよう準備しておいた）
- ・前日打ち合わせで、試合順の変更を行い、午前の試合数を同程度になるように調整したが、当日の試合進行状況の影響により、試合場間の午前の終了時間に55分の差が生じた。前日の打合せどおり試合場の変更は行わなかった。午後の試合はそれぞれ順調に進んだが、午前中の影響により第二試合場が終了した時点で第一試合場は8試合（試合中を含む）残っていたため、終了時間も考慮して3試合を第二試合場に移し実施したことにより最終終了時間を17時前にすることができた。
- ⇒前日の打合せに対する臨機応変な対応ができなかった。
- ・竹刀検量を3か所で実施し、内1か所を女子専用としていたことで、参加者の多い男子の待ち時間が多く発生していた。
- ⇒女子の部が終わったところで、男子の検量に変更できれば効率が上がるのではないかな。
- ・受付時間が終了しても受付していない参加者が若干数いた。欠席連絡を確実にさせることで効率が上がると思われる。
- ⇒結果、抽選作業も効率化され、もっと早く開会できる可能性がある。
- ・開会式の整列については、係員（大学生）に事前に簡単な資料（福岡個人で作成）を渡し誘導を依頼したので、スムーズに行えた。
- ・時計係の旗の掲示方法について、起立の上、上部に掲げることを依頼し、問題なく実施された。（前日打ち合わせで意見はしたが、方法の確定がされなかったが、当日戸塚先生と意見交換し係員に依頼）
- ・本年度初めて県連大会の競技委員長を担当される先生方には、県連事務局の当該大会責任者、県連事務局員との連携を十分に図るようされると良いと思います。また、前日打ち合わせでは、大会委員長、審判長が出席しない（今大会では出席していない）ことがありうるので、当日朝、大会委員長、審判長に前日打ち合わせ内容を含め、コミュニケ

ーションを図ることをお勧めする。

4. 記録者氏名 (福岡 孝幸)

1. 第 17 回女子剣道大会・第 17 回都道府県対抗県予選会（女子）。

2. 大会日時 5 月 10 日 準備開始時間 8 時 30 分
開会式開始時間 9 時 00 分
閉会式終了時間 15 時 30 分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を簡条書きで記入してください。

- ・昼食の弁当が注文先のミスで準備されず、大会進行に支障をきたした
- ・結果発表で、呼名するとき、フリガナが無いと間違える
- ・各試合場で決勝戦の紹介をしながら、遅れている試合会場の移動は大会委員等の協力者がいないと無理。今後も大会委員を招集して欲しい
- ・女子の審判員の中にも選手として参加を希望している方がいた。女性の大会を盛り上げる為に、配慮が必要

4. 記録者氏名 (川村振二)
大会委員協力者 北村・糸井

1. 第 64 回全日本女子剣道選手権大会剣道競技 神奈川県予選会。

2. 大会日時 8 月 2 日 準備開始時間 8 時 30 分
開会式開始時間 9 時 55 分
閉会式終了時間 13 時 30 分

3. 大会当日に、進行について、他の役員から指摘された事・反省点や疑問に思った事を簡条書きで記入してください。

- ・審判長が健康上の理由で到着が遅れたが、開会式は予定通りだった。（交代の算段は執行部で検討予定だった）
- ・一試合場での試合だが、審判主任を設けた。
- ・前日打ち合わせで、欠席者の連絡を受けた。一人外国人選手がいたので、当日国籍などの確認をしたが、結婚して

入籍しているので、問題はなかった。

- ・竹刀検量を 2 か所で実施したが、不許可竹刀が 4 本あった。
- ・受付時間内で試合参加予定者は集合完了。

⇒要項で受付時間が決まっているので、時間外はエントリーしない。

- ・開会式の整列については、係員（大学生）に事前に簡単な資料を渡し誘導を依頼したので、スムーズに行えた。
- ・時計係の旗の掲示方法について、一人で行うので座って上部に掲げることを依頼し、問題なく実施された。
- ・この大会は個人情報保護の観点で写真や動画撮影は禁止。途中で撮影者を注意した。
- ・昼食時間は設けないので、剣道場内の控室で審判員、役員は交代しながら摂食した。
- ・剣道場のエアコンはよく利くのでブレザーの携行を奨める。
- ・決勝審判は特に選抜しなかった。放送による案内もなし。 以上

4. 記録者氏名 (戸塚義孝)

⑤ 審判委員会

審判委員会報告書

委員長：岡見浩明 副委員長：笹木春光
委 員：原 敏之 吉田美佐子 高山和彦 亀井賢司 和田華子

1. 審判割振りの確認(下表)

2. これまでの反省事項

- ・割り振りを行う際に女子審判員の不足を感じた。
- ・できるだけバランス・回数を考慮して作成したが多少回数にばらつきが生じた。

3. 今後の予定

- ・12/7県剣道大会割り振り済み
- ・1/17都道府県予選
- ・3/01剣道祭

4. その他

- ・指定審判員追加月岡、町本
- ・女子審判員の追加を要望したい

No.		名前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14		
			5/10	5/10	5/24	6/29	8/2	8/3	8/30	9/7	10/13	11/8	12/7	1/17	3/1		
			女子剣道大会 24	都道府県女子選手権大会 12	国又水子選 12	国又青少年少 12	全日本女子 10	練成大会 24	青少年選手権五輪 28	全日本予選 18	東西対抗 28	シニアフェデ 24	県剣道大会 36	都道府県 18	剣道祭 審		
1	0	宮崎 正裕								審判長							
2	0	吉村 哲夫								審判長							
3	0	松原 治	審判長	審判長				審判長				副委員長					
4	0	小山 則夫					審判長										
5	1	岡見 浩明					●	●		●	●	審判長	●			5	
6	2	竹井 浩司	●	●	●		○		●	●	●	●	●			8	1
7	0	中島 治彦															
8	3	石原 和彦			●				●		●					3	
9	4	日高 徳幸	●	●						○	●	●				4	1
10	5	宮崎 史裕	●	○						○	○		●			2	3
11	6	安藤 守			○											0	2
12	7	有馬 裕史	●	○			○			○		●	○			2	4
13	8	今里 学			○			●		○		○	○			1	3
14	0	高野 力								委員長					委員長		
15	9	織口 剛次	○	○				●		○		●	○			2	3
16	10	辻山 和良	○	○							○	○	○				5
17	11	中田 圭介						●		○	○	○	○			1	3
18	0	飛知和 利文												委員長		0	
19	12	小笠原 正記	○	○			○		●			○	○			1	5
20	13	佐藤 和義			○		○					○				0	3
21	14	三崎 恭裕	○	○						○	○		○			0	5
22	15	川村 敏巳			○				●	○	○	○	○			1	5
23	16	加藤 公一						○		○						0	4
24	17	鈴木 雅彦			○				○	○			○			0	5
25	18	前川 勝						○	○	○			○			0	4
26	0	上野 正明											委員長			0	
27	19	笹木 春光	○	○		○					○	○				0	5
28	20	小田 雅義						○		○		○	○			0	4
29	21	高鍋 進	○	○	○					○						0	4
30	22	北条 将臣			○	○							○			0	3
31	23	原 敏之	○	○		○						○				0	5
32	24	千葉 啓伸						○	○	○	○					0	4
33	25	最上 安博						○	○		○					0	3
34	26	中村 俊和	○					○					○			0	3
35	27	佐藤 智実						○			○					0	2
36	28	戸塚 義孝	○								○		競技長			0	2
37	29	川村 振二	競技長	競技長						競技長			競技長			0	

38	30	亀井 賢司	○				○					○	○				0	6
39	31	上原 厚	○				○	○				○	○				0	3
40	32	福岡 孝幸	○				○			競技表							0	2
41	33	大塚 哲史					○	○				○					0	3
42	34	久保木 聡	○				○	○				○	○				0	3
43	35	高橋 由美子						○		○							0	2
44	36	外崎 学					○	○		○		○					0	4
45	37	和田 誠名					○	○				○	○				0	3
46	38	重黒木 英俊	○							○		○	○				0	4
47	39	石神 邦彦					○										0	1
48	40	鈴木 久美子					○						○				0	2
49	41	東城 俊也						○		○		○	○				0	3
50	42	二見 和也	○					○				○					0	3
51	43	大塚 博昭				○		○				○	○				0	3
52	44	齋藤 浩				○					○	○	○				0	4
53	45	細川 諭					○	○									0	2
54	46	高山 和彦	○		○								○				0	4
55	47	和田 智司						○		○							0	2
56	48	富田 紀代子	○														0	1
57	49	瀧本 明彦						○									0	1
58	50	鈴木 順也	○			○		○			○						0	4
59	51	加藤 伸一						○									0	1
60	52	大塚 真由美	○	○			○										0	3
61	53	奥津 貴							○		○		○				0	3
62	54	松永 勇正										○	○				0	1
63	55	北条 忠臣				○					○	○	○				0	4
64	56	小山 潤				○				○		○	○				0	4
65	57	天野 聡				○						○	○				0	2
66	58	吉田 美佐子	○	○				○	○			○	○				0	6
67	59	村井 祐介															0	0
68	60	加藤 美恵子	○					○			○						0	3
69	61	黒澤 辰矢				○					○	○	○				0	4
70	62	漆原 潔						○	○			○	○				0	4
71	63	大塚 陽介				○	○				○	○	○				0	4
72	64	山本 知				○		○			○						0	3
73	65	千葉 三千子	○	○			○										0	3
74	66	大上 隆志										○					0	1
75	67	和田 華子	○						○		○	○					0	4
76	68	宮本 祐子						○	○		○	○					0	4
77	69	松本 勝範						○				○					0	2
78	70	福本 健二										○	○				0	2
79	71	亀井 隼人						○		○							0	2
80	72	佐藤 由治				○			○								0	2
81	73	黒澤 幸恵							○			○	○				0	3
82	74	立迫 明美	○							○		○	○				0	3
83	75	早津 理恵									○						0	1
84	76	浦川 伸一朗															0	0
85	77	大坪 和哉										○					0	1
86	78	勝見 洋介						○									0	2
No.	名前		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14			
		5/10	5/10	5/24	6/29	6/2	8/3	8/30	9/7	10/13	11/8	12/7	1/17	3/1				
		女子剣道大会	都道府県女子	国スホ予選	国スホ少年	全日本女子	鎌成大会	青少年選手権	全日本予選	東西對抗	シニアフュ	県剣道大会	都道府	剣道祭				
		24	12	12	12	10	24	28	18	28	24	36	18	審	審判主任	審判員		
		4	2	2	0	1	4	4	2	4	4	4	4	4				
	副主任																	
	審判員																	
	補員																	

⑥普及・指導委員会

令和7年11月29日

普及・指導委員会1年間の活動・反省

本部役員 会長 野見山 延 副会長 松原 治
委員長 石原 和彦 副委員長 安藤守、中田 圭介

1 合同稽古における指導

○一般稽古 担当 石原和彦

- ・指導内容 切り返し、基本稽古、段位別回り稽古2分6回
指導稽古を40分以上とする。
壁側でお互いの稽古ができるようにする。

* 八段稽古を5月、12月に取り入れる。
充実している稽古ができている。

・反省点 指導稽古で掛かる側の回数が2～3回であり、2分または
3分で合図し、交代する必要がある。
ある程度、年齢別で稽古したほうが良いという意見もある。

○女子稽古 担当 安藤守、小笠原正記

- ・指導内容 指導稽古40分以上、実施している。
試合稽古を6月、10月に実施した。
3～4名一組1分15秒のリーグ戦（段位は関係なく）
日本剣道形（午後）6月に実施し、参加者も多く集中して取り組んだ。次回は、12月に行う予定である。
充実している稽古ができている。

・反省点 11月は、審査前で立ち合いの稽古を行ったが、指導稽古が30分になって
しまった。2月は、基本指導を短縮する。

2 講習会の企画（担当、講師を決定して依頼、講習内容）

- ・担当者は、講師原案を決めて情報共有する。
 - 本部役員 松原先生に報告・決定
 - 野見山会長に報告・決定 → 事務局に依頼 → 講師に依頼
- ・講師人数+補欠2名を選出（補欠に順番をつける。）
- ・講習会の2か月前に原案を作成する。

○審判講習（年間2回）担当 中田圭介

7月12日（土）、11月15日（土）

各支部から選出してもらい講習会に参加してもらい、多くの参加者がありました。その講習者が各支部で伝達してもらいたい。

* 問題点・・・審判講習会は、審査委員会で企画運営をすることを2回目終了後に確認した。今後は、審査委員会にお願いすることにした。

○剣道形講習（年間2回）担当 安藤守

8月23日（土）2月21日（土）

参加者も多く、参加者は真剣に取り組んでいた。
県立武道館に冷暖房が完備され、講習会が充実できている。

○八段受験者講習（年間3回）担当 石原和彦

第1回6月28日（土）

主任講師を伊藤陽文先生にして充実した講習会でした。

第2回9月27日（土）

主任講師を網代忠宏先生にして充実した講習会でした。

第3回3月21日（土）

主任講師未定

* 検討課題・・・主任講師は、本部役員で決めてもらったほうが良い案が出ています。

○六、七段受験者講習（年間2回）担当 中田圭介

9月28日（日）2月23日（月）

終了後の稽古会を検討する。

○三段以下剣道形講習会（年間1回）担当 安藤守

3月4日（土）

○中央講習会について

* 検討課題・・・県代表者とオブザーバーをいつ、どなたが案を作成するのか。
伝達講習会の講師と本部役員は、幹部会で決めますか。

⑦強化委員会

強化委員会

強化委員長 有馬裕史

○第 73 回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 4 月 29 日（祝） 和歌山ビックホエール
強化稽古会 3 月 7 日（金）・21 日（金）・4 月 11 日（金）・25 日（金） 県立武道館
参加者 監督・選手・強化委員 2 名

結果

1 回戦 神奈川 2－0 島根 2 回戦 神奈川 2－1 静岡 3 回戦 神奈川 5－1 宮崎
4 回戦 神奈川 1－1（代）千葉 ベスト 8 優秀選手 大将 北条 将臣選手

○全国高校総合体育大会剣道競技男女個人県予選会 5 月 25 日（日） カルッツかわさき
「都道府県女子大会先鋒（高校生）の部 決定」 視察 強化委員 2 名

○国スポ 箱根合宿 6 月 21 日（土）強化稽古会 箱根の森小学校 宿泊 ヴェルデの森
22 日（日）強化稽古会 星槎レイクアリーナ箱根
参加者 会長・副会長 1 名・国スポ総監督・選手男子 5 名女子 3 名
・関東七県 B チーム男女 8 名・強化委員 2 名

○国スポ少年男女神奈川県予選会 6 月 29 日（日）神奈川県立武道館
「国スポ選手男女決定」 視察 強化委員 2 名

○第 17 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 2025 年 07 月 13 日（日） 日本武道館
強化稽古会 6 月 2 5 日（水）・7 月 9 日（水）
参加者 監督・選手・強化委員 2 名
結果
2 回戦 神奈川 2－4 三重

○第 64 回関東七県対抗剣道大会 7 月 20 日 神奈川県立武道館
結果
予選リーグ第 1 組 4 位神奈川県 A チーム 第 2 組 1 位神奈川県 B チーム
決勝 神奈川 B 3－2 栃木県 優勝 神奈川県 B チーム

○第 75 回日光大会 関東都県団体対抗戦 8 月 18 日（月） 日光東照宮武徳殿
結果
2 回戦 神奈川 2－2（代）茨城県

○第 79 回国民スポーツ大会関東ブロック大会剣道競技 8 月 23 日（土） ALSOK ぐんま武道館
強化稽古会 女子 7 月 30 日（水）中止 ・ 8 月 15 日（金）成年男女、少年男女合同（警察武道館）
結果
成年女子 第 3 位 少年男子 第 1 位 少年女子 第 3 位

全種別 本大会出場

○第 79 回国民スポーツ大会剣道競技会 9 月 27 日（土）～10 月 1 日（水） 滋賀県湖南市総合体育館
結果

少年男子 1 回戦 神奈川 0－0（代）北海道 少年女子 1 回戦 神奈川 0－3 熊本
成年女子 1 回戦 神奈川（代）0－0 兵庫 2 回戦 神奈川 2－1 愛知
準決勝 神奈川 0－3 滋賀 3 位決定戦神奈川 2－1 東京 第 3 位
成年男子 1 回戦 神奈川 2－0 三重 2 回戦神奈川 3－0 宮崎
3 回戦 神奈川（本）1－1 和歌山 4 回戦神奈川 1－2 東京 第 5 位
男女総合 8 位

○ねんりんピック岐阜 2 0 2 5 剣道交流大会 10 月 19 日（日）～20 日（月）岐阜県アテナ工業アリーナ
結果
神奈川県チーム 予選リーグ 9 ブロック 3 位 予選敗退

○第 73 回全国青年大会 11 月 8 日（土）～9 日（日） 東京武道館
強化稽古 10 月 4 日（土）慶応大学（女子のみ）・10 月 7 日（火）県合同稽古参加
11 月 2 日（日）浅野高校

結果

男子団体 1 回戦 神奈川 3－1 岡山 2 回戦 神奈川 1－3 千葉 ベスト 8
女子団体 1 回戦 神奈川（本）1－1 福岡 2 回戦 神奈川 3－0 茨城
準決勝 神奈川 1－0 埼玉 決 勝 神奈川 2－0 東京 優勝

男子個人 ベスト 16 内田（神奈川）

女子個人 優 勝 鈴木 光（神奈川）
ベスト 16 瀬川（神奈川）・榎本（神奈川）

○予定 神奈川県高校新人大会 男女個人戦 12 月 13 日（日）カルッツかわさき
「都道府県大会先鋒（高校生）の部 決定」 視察 強化委員 2 名

◎前期まとめ

- ・昨年度の実施状況を基本として計画および実施した。しかし担当する大会が増えたため役割分担が必要。
- ・選手選考・推薦については、今までも検討してきたと思われるが、今後も検討が必要。
- ・社会体育指導員、日本スポーツ協会の剣道コーチⅠ・Ⅱの取得者を増やすことが必要であるが、あくまでも個人の資格であり、同時に取得までの期間や金銭面の問題がある。
（国スポの大将・来年度からの都道府県大会の監督の決定にかかわってくる）
- ・大会参加が公務か休暇扱いなのか？で配慮が必要になってきている。

⑨居合道委員会

一般社団法人神奈川県剣道連盟 委員会・部会 上半期事業結果

期間 令和7年4月1日～令和7年11月30日

委員会名 居合道委員会 委員長 久保正男

部会名 居合道部会 部会長 古市典雄

1 役員改選について

5月11日理事会にて

令和5年度～6年度 居合道部会会長 古市典雄

2 5段以下審査会

4月6日実施 合格者 117名（1級24名 初段35名 2段37名
3段10名 4段6名 5段5名）

10月5日実施 合格者 120名（1級35名 初段34名 2段18名
3段21名 4段8名 5段4名）

3 7段、6段審査会

11月7日茨城県 合格者 8名（7段2名 6段6名）

4 称号審査会

5月13日京都府 合格者9名（教士3名 錬士6名）

5 第60回全日本居合道選手権大会

10月11日東京都綾瀬市東京武道館 神奈川県第2位

6 神奈川県居合道大会

8月10日 県立武道館 参加者 235名

7 講習会参加者

5月5日 高段者研修会 136名 6月1日 講習会 192名

7月13日 伝達講習会 250名 9月21日 講習会 209名

11月9日 講習会 201名 合計 988名

⑩杖道委員会

【杖道委員会の今年度前半のまとめ】

杖道委員長 大竹俊行

・令和7年4月20日(日)

杖道5段以下審査会・講習会 於：神奈川県立武道館剣道場

講習会参加者 109名

審査結果

	受審者	合格者
1級	3名	3名
初段	17名	16名
二段	14名	14名
三段	3名	2名
四段	7名	5名
五段	5名	4名

・令和7年5月10日(土)

第43回神奈川県杖道大会 於：横浜武道館剣道場

参加者 個人戦 87名 団体戦 12チーム

大会結果 個人戦

	優 勝	準優勝	三 位
初段以下の部	宮畑 秀人	海部 美和	西岡友梨子
2段の部	齋藤 開斗	廣瀬 裕美	劉 寅
3段の部	塩野 淳也	金子 寛	渡邊 孝文
4段の部	高山みなみ	朝倉 慧	宮川 真紀
5段の部	土屋 智和	テア・ピフヤラ	小林さおり
6段の部	清水 裕子	西垣 泰宏	森島 康文
7段の部	島津加奈子	アンディ・ワトソン	上村 崇幸

団体戦

優 勝	準優勝	三 位	三 位
霽月会	清風会	希望ヶ丘杖道教室	松田

・令和7年6月8日(日)

杖道講習会 於：神奈川県立武道館小道場

参加者 71 名

・令和7年7月6日(日)

杖道称号予備審査会・講習会 於：神奈川県立武道館剣道場

講習会参加者 66 名

予備審査会受審者：土屋誠、梶史生、久田真介、浅村建一郎

合 格 者：土屋誠、梶史生、久田真介、浅村建一郎

・令和7年9月15日(祝・月)

杖道級審査会・講習会 於：神奈川県立武道館剣道場

講習会参加者 41 名

1 級審査受審者：6 名

合 格 者：6 名

・令和7年9月23日(祝・火)

杖道講習会 於：厚木市東町スポーツセンター

講習会参加者 41 名

・令和7年10月25日(土)

杖道講習会

於：横須賀市西体育館

講習会参加者 37 名

・令和7年11月3日(祝・月)

杖道五段以下審査会・講習会

於：神奈川県立武道館剣道場

講習会参加者 102 名

審査結果

	受審者	合格者
1 級	9 名	9 名
初段	8 名	8 名
二段	12 名	12 名
三段	3 名	3 名
四段	7 名	2 名
五段	7 名	2 名

【問題点等】

現在の杖道部会の講習会参加人数は登録人数に比して大変少ない状態であります。

審査当日の講習会参加者は 100 名を超えるのですがその他では 60 名前後、30 名台の時も

あり、講習会の実施方法、指導内容の再考など必要があるかと思われます。

審査の時にしか講習会への参加がない会員が参加したいと思える講習会内容にの検討をしていきたいと思います。

以上